

# 社員の提案による寄付活動

企業としての社会貢献は、社員一人一人の気持ちの反映でもあると考えます。ジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献委員会では、社員から推薦された非営利団体への寄付を行っています。社員が自らボランティアとして活動をしている団体、日ごろから関心を持っている団体など、社員の視線を通じた活動を支援しています。

## 支援先団体：メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン

メイク・ア・ウィッシュは1980年アメリカで発足した難病の子どもたちの願いをかなえるボランティア団体です。日本では1992年にメイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパンを設立し、全国8拠点で活動を展開しています。「遊園地に行きたい」「サンタクロースと遊びたい」など、小さな願いも闘病生活の中では容易に実現できるものではありません。しかしそれだけに、願いがかなうことは子どもたちの生きる力や病氣と闘う勇気につながります。これまでに743人(2005年4月5日現在)の子どもたちの願いをかなえるお手伝いをしてきました。また一方で、一般の人々向けの活動にも力を注ぎ、2004年は全国40会場以上で「いのちの大切さ」「病気の子ども」「ともに生きること」をテーマとする講演会を開催しました。学童・学生には「次世代の担い手」として、シニア世代には「生きがい」や「ともに生きる」という観点から、認知と理解を進めていきたいと考えています。ジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献委員会では、講演会の運営費用を寄付しました。



## ジョンソン・エンド・ジョンソン(株) コンシューマーカンパニー 西川 千佳子



メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパンでボランティアをしています。きっかけは偶然見たテレビ番組でした。夢がかなった時の子どものなんとも言えない嬉しそうな表情がとても印象的で、すぐに事務所へ問い合わせました。これまでは毎月行われている定例会や資金集めのためのイベント(ジョギング大会など)サポートに参加しました。将来は、子どもたちの願いをかなえる活動のスタッフとして参加したいと思っています。スタッフの責任は重大で、子どもたちの病氣や状況によって対応も異なり、またことばで伝えることが難しい子どもたちの願いを理解することも重要な仕事です。今後活動に必要な知識を習得し、やっとかなえられる願いを、子どもたちの思い描いているとおりに実現し、その思い出が大きな力につながるようお手伝いをしていきたいと考えています。

## 支援先団体：特定非営利活動法人 フードバンク関西

フードバンク関西は、尼崎市に拠点を置いて主に大阪と神戸で活動しているボランティア団体です。ヨーロッパやアメリカで20年以上の実績を持つフードバンクのシステムを導入し、食品製造業者、卸売業者、小売業者などから寄付された余剰食品を、ホームレスのシェルターや炊き出し活動を行っている団体、DV(ドメスティック・バイオレンス)被害者のシェルター、児童養護施設などに無償で提供しています。フードバンク関西が提供する食品は、その半分以上が子どもと高齢者に届けられています。また2004年3月からは、2カ月に一度、尼崎市内の知的障害者作業所と協働し、食品提供者であるスーパーマーケットの店頭において作業所生産品の即売会を開催しています。食品の提供者と受け入れ団体、そして地域社会を結び、「食」を通じたネットワーク作りにも取り組んでいます。ジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献委員会では、食品運搬費用を寄付しました。



## ジョンソン・エンド・ジョンソン(株) メディカルカンパニー 日中 賢持郎



フードバンク関西を知ってから「おなかいっぱいご飯を食べる」という一見あたりまえのことが難しい人々がいることに気づきました。中でも児童養護施設の子どもの姿には自分の子どもが重なり、何かできることはないかと考えました。施設によっては補助金等の削減から、おやつや夜食などの予算が不足していると聞きます。社会的にきびしい状況におかれころにも傷を負った子どもが、その上、育ち盛りのからだに十分な食べ物を得ることまでも難しいとなると問題です。人間というものは、たとえ困難な状況に陥っても、おなかさえ満たされていれば希望は見えてくるものだと思います。子どもたちの将来のためにも、この活動を支援していきたいと考えています。今は個人的にも寄付を行っていますが、将来は資金集めのバザーのお手伝いなどにも参加したいと思っています。

その他の寄付先(50音順) 愛知排泄ケア研究会、芦屋家族会、いのちはな友の会ヤング部会、HIVと人権・情報センター、えじそんくらぶ、XPひまわりの会、鹿児島県難病・障害者連絡協議会、がんの子供を守る会、共同作業所銀杏企画、京阪さい帯血バンク、血液患者コミュニティももの木、国際連合世界食糧計画WFP協会、こどもプロジェクト、視覚障害者ボウリング・コングレス・ジャパン、児童虐待防止協会、新宿西共同作業所・ラバンス、青少年育成支援フォーラム、精神障害者共同作業所むつみの家、精神保健サービスユーザーリーダーシップアカデミーワークショップ、世田谷ボランティア協会を支える会チャイルドライン応援団、「なんやろ絵なんやろ」展こころに平和を実行委員会、日本IDDMネットワーク、日本子宮内膜症協会、日本青少年英会、日本二分脊椎・水頭症研究振興財団、日本ビルマ救援センター、日本盲人マラソン協会、乳房健康研究会、ファミリーエージェンシー、ファミリーハウス、呆け老人をかかえる家族の会千葉県支部、ワタリ西日本、ワンダーアートプロダクション